夢と感動をカタチに
～パチンコができるまで～

“ドキドキ・ワクワク”をお届けするために

サミー株式会社
PC研究開発本部
PC第一技術研究開発部
稲村 淳

私たちの部門は、液晶や役物等、パチンコ台に組み込まれるすべての基板の電気回路設計やそれに伴う評価・試験等を主に担当しています。私たちのこだわりは、液晶や役物等の演出が際立つように裏の基板をきれいに配置すること、また機械に不具合を発生させないための設計や評価試験の強化など、表には見えない部分で機能やゲーム性の向上を下支えすることです。これからも、パチンコの醍醐味であり魅力の“ドキドキ・ワクワク”をお届けするために、開発メンバーと連携しながら、皆さまの要望をカタチにしていきます。

ドキドキ・ワクワクをお届けする“こだわりのものづくり”

「新しいものはサミーから」の信念のもと、全社員一丸となって、お客さまの満足を追求しています

企画・製品開発
お客さまに夢と感動をお届けするための体制強化を図っています。

設計
独自の基準を満たすために幾度も作り込みを重ねています。

各種申請
法的規制に対応したものづくり。

生産
JIS規格をもとにしたサミー独自の徹底した試験項目を定め、安全で良質な製品を提供しています。

社会に配慮・対応した“責任あるものづくり”

各工程では、安全や環境をはじめ、法的規制に対応した責任あるものづくりを行っています

法的規制への対応と不正防止対策

製品を量産・販売する際は、「風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律施行規則」（以下、風適法施行規則）に基づく複数の許認可プロセスを経ることが義務付けられています。まず、一般財団法人保安通信協会（保通協）に型式試験申請を行い、材質・性能・遊技性などが風適法施行規則で定める規格に適合している旨の適合認定を取得します。その後、各都道府県公安委員会の検定を取得した後、次の営業・生産段階に進みます。

また、遊技機の射幸性の抑制と不正改造の防止を主な柱とした「風適法施行規則等の改正」（2004年7月より施行）を受けて、不正な方法で利益を得る、いわゆる“ゴト行為”を未然に防ぐために不正対策室を設け、継続的に市場情報を収集し不正に強い機械づくりに取り組んでいます。

※保通協申請：遊技機を製造・販売するにあたって、都道府県公安委員会の検定を受けることになりますが、保通協は、都道府県公安委員会に代わり、遊技機の型式の性能が技術上の規格に照らして適合しているかについての型式試験を実施しています。
※検定申請：遊技機には、国家公安委員会が定める技術上の規格があり、この規格に外れるものは遊技場に設置することができないとされています。『検定』とは、製造業者が、都道府県公安委員会に対し、自社が開発した遊技機の型式がこの規格に適合しているか否かについての審査を申請するものであり、遊技機を量産し全国的に販売を行うにあたって必要不可欠の手続きになります。

環境への配慮・対応

開発・設計段階では、部材の共通化による資源の有効利用や、鉛フリーはんだ部品、水系接着剤等、環境負荷の少ない原材料を採用しています。生産段階では、部品調達先に容器包装削減を依頼し廃棄物の発生抑制に努めるほか、生産工程で発生する廃棄物のリサイクルや適正処理などに取り組んでいます。また、廃棄段階では使用済みパチンコを適正に処理するため、自社台の下取りを行うほか、業界団体回収システム等を利用した適正なリサイクル処理を行っています。

なお、パチンコは資源有効利用促進法の対象製品であることから、3R（リデュース、リユース、リサイクル）の取り組みを徹底しています。（2012年度は遊技機のリサイクル率は98.47%、サーマルリサイクル除く）

提供価値の最大化に向けて

サミー株式会社
営業本部 営業企画部　**粂田 貴司**

私たち営業企画部は、製品の魅力や特性・遊び方等を紹介するための様々なツールづくりや製品発売に伴うイベント企画等を担当しています。私たちの使命・こだわりは、〝伝わる〟ツール・企画を考案し、実行することです。お客さまの趣味趣向が多様化し、情報化が進む中でも、作り手の想いやサミーが提供したい価値・魅力をお客さまのもとへ確実にお届けするために、心に響く効果的なコミュニケーションを探究していきます。

お客さまの満足と笑顔のために

サミー株式会社
営業本部 営業統括部（大阪支店）　**立原 祐介**

お客さまの満足や笑顔は、信頼関係があるからこそ生まれると考えています。だからこそ、常にお客さまの視点で物事を考え、期待以上の提案や対応を心がけています。日々反省することや課題はありますが、これからもお客さまとの出会いやコミュニケーションを大切に、信頼していただける魅力的な人間に成長したいと思います。

営業
お客さまに製品の特徴を理解していただくための取り組みを強化しています。

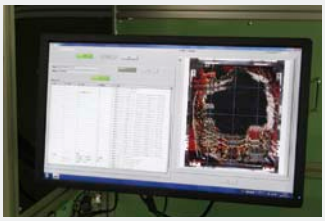
カスタマーサポート
お客さまに製品を安心してご利用いただくための環境を整えています。

提供価値の最大化

安全・安心への対応

開発・設計段階では、部品やユニットの動作・耐久性など様々な角度から試験を繰り返し、製品の信頼性向上を図っています。生産段階では、JIS規格をもとにした独自の試験項目とあわせて、最新の画像検査装置も取り入れ、安定した品質を確保しています。

また、製品導入後も安心して製品をご利用いただけるよう、ホール関係者向けのカスタマーサポートセンターを設け迅速かつ丁寧な対応を行っています。さらに2012年度からは、お客さまのご都合にあわせてご利用いただけるアフターサービス専用のカスタマーサポートオンラインを開設しました。今後も、いただいた声や要望を関連部署にフィードバックし、製品開発や品質のさらなる向上につなげていきます。



表役物画像検査装置

安心をお届けするために

サミー株式会社
営業本部 カスタマーサービス部　**馬渕 哲朗**

私たちカスタマーサポートは、常にお客さま視点をもった〝さらに上〟の応対に努めています。そのため、部品の注文数やお問い合わせ数など、一歩先を予測した計画性の高いコールセンター運営を行っています。これからも迅速・丁寧なサービスはもちろん、お客さまに〝安心〟というサービスをお届けできるよう、日々改善に努めていきます。

ぱちんこCR北斗の拳5覇者
©武論尊・原哲夫/NSP 1983,
版権許諾証YKA-105　©Sammy

特集2 SEGA

エンタテインメントの新たな可能性

人類が初めて体験する地球
世界初“大自然超体感ミュージアム”

Orbi オービィ

斬新でインタラクティブな、セガのエンタテインメント・テクノロジー。過去50年間にわたり地球上の生命と自然の神秘を撮影し、世界最高峰の自然映像を所有するBBC EARTHのコンテンツ。『Orbi』はこの2社のDNAが融合することで生まれた、今までにない全く新しい形のミュージアムです。メインシアターとエンタテインメント・エキシビションを中心に構成され、訪れた人は大自然の神秘を全身に感じる究極の没入体験を楽しむことができます。

BBC EARTH
クリエイティブ・ディレクター
ニール・ナイチンゲール 様

BBC EARTHと『Orbi』

BBC EARTHは、大自然の驚異を伝えることによって世界中で人々が、このかけがえのない惑星、地球とのより深いかかわりを希求するようになってほしいと願い、活動しています。BBCワールドワイドの主要なファクチュアル（ノン・フィクション）ブランドであるBBC EARTHは、他にはないユニークな方法により大自然との出会いを提供できるような―人々の想像をかきたて、驚きと感動を届けることができる―プロジェクトを通して、自然映像作品の境界線を押し広げたいと思っています。

従って、今回セガと共同で『Orbi』という画期的な体験エンタテイメントを製作し、テレビ画面という限定された世界から飛び出し、BBC EARTHのコンテンツを街の真ん中で人々に届けられる機会を得たことに我々は大変感激しています。BBCはこれまで50年以上にわたって、自然映像作品の世界を先導してきました。私たちの撮影クルーは信じられないくらい長い時間を費やして、目をみはる光景、感動の物語、素晴らしい生き物たち、そしてこの地球が提供する様々な驚異をテレビの前の視聴者に届けてきました。

しかし、『Orbi』を訪れる人々は、海底から北極の大自然まで、これまでカメラが捉えてきた地球の素晴らしさを多感覚的に体験できます。最先端のテクノロジーを駆使し、ヌーの群れの大移動の真っ只中に入り込んだり、空を飛びながら地上を見下ろすような、現実ではありえない状況を臨場感たっぷりに体験できるのです。それは、心躍る「大自然超体感」アドベンチャーです。

［施設概要］
Orbi Yokohama
（オービィ横浜）

神奈川県横浜市西区
みなとみらい三丁目5番1号
MARK IS みなとみらい 5F
http://orbiearth.com/jp/

「シアター23.4」
～大自然を全身で感じる～

『Orbi』のメインとなる、セガとBBC EARTHの英知が結集したスペシャルシアターです。美しい4K映像だけでなく、匂いや風、霧、フラッシュライト、超立体サラウンドシステムなどによる演出で全身の感覚を刺激し、圧倒的なスケールで、これまで見ることができなかった"真のBBC EARTH"が体感できます。

世代や国境を越えて誰もが楽しめるコンテンツ

「エキシビションゾーン」～未知なる地球を発見～

地球上の様々なシーンを舞台にした、大小12種類の「エンタテインメント・エキシビション」で構成されています。アトラクション的・ゲーム的手法によって、より楽しく、より直感的に地球や生命の持つ神秘を発見することができます。

浅瀬から深海までを巡る海中遊泳の旅を楽しめる、海をテーマにした癒しと神秘の空間。フォグスクリーンを用いた立体的演出が特徴です。

体感温度-20℃の特殊な部屋の中、風速15メートルの強風と映像演出で、極寒の地に生きる動物たちの生活の一部を体験できます。

「アフターショー&サービス」～余韻に浸る～

BBC EARTHの撮影チームの舞台裏を紹介するメイキングコーナーや、様々なオリジナルグッズを揃えたショップを設けています。また、館内で自動撮影された写真やエキシビションゾーンで撮った合成写真なども購入できます。

想像を絶する臨場感で、大自然の真っ只中に皆さまをお連れします。

驚異的なスピードで都市化が進む現代、子どもたちの多くは親世代には当たり前にあった「自然との触れ合い」が十分にできない環境で育っています。そんな都市空間にいながら大自然の神秘を間近に体感できる場所、それが『Orbi』です。『Orbi』は、現実の世界でもなかなか体験することができない大自然の真っ只中へと人々をいざない、地球の神秘や野生動物がもつ驚異の物語を通して、世代や国境を越えてあらゆる人々に感動をお届けします。

中でも、施設の目玉である「シアター23.4」は、日本最大級のスクリーン（幅40m×高さ8m）を設置し、『Orbi』のためだけに制作・編集されたBBC　EARTHの完全オリジナルストーリーを上映します。ここでは、ただ見るだけではなく、音を聞き、風を感じ、大自然の鼓動を体で感じることができます。是非『Orbi』に足を運んでいただき、地球の生命力を全身で感じて、人間が本来持っている好奇心を呼び覚ましていただきたいと思います。

『Orbi』は、日本にとどまらず世界各国へ展開することを目指しています。そして『Orbi』の体験を通じて、世界中の人々に楽しみながら自然への探究心を育んでいただく機会を提供していきます。

株式会社セガ
エンタテインメントパーク事業部
エンタテインメントパーク事業企画部
長谷川 敦彦

特集3 SEGA TOYS

子どもたちの憧れや夢を叶えるために
～玩具ができるまで～

セガトイズは「新価値創造 for the next smile」のビジョンのもと、従来の玩具の枠にとらわれない、新たな遊びを提案することで、世界中の人々に最高の笑顔と感動をお届けすることを目指しています。ここでは、玩具づくりにかける開発者の想い、製品安全に向けた取り組みを紹介します。

©'08, '13 SANRIO／SEGA TOYS S・S／W・TX・JLPC

企画・開発におけるこだわり

子どもたちの笑顔のために

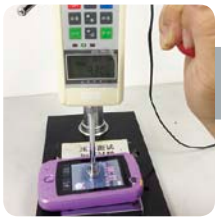
『子どもたちが抱く憧れや夢を、玩具を通して叶えたい』、そんな想いでいつも企画づくりに没頭しています。仕事の時はもちろん、プライベートの時でも、子どもたちは何に憧れているんだろう？興味を持っているんだろう？と、自然と子どもがいるところに足が向き、子どもの視点になって物事を考えています。私たちのこだわりは、200%自信が持てる玩具を作り込むこと。そのため、企画会議は何度でも繰り返しますし、メンバー全員が納得するまで、とにかくアイディアを出し合います。そうして完成した玩具を、子どもたちがうれしそうに手にしている姿を見た時は、最高にうれしい瞬間です。これからも世界中の子どもたちの笑顔のために、憧れや夢を叶えることができる玩具を創っていきたいと思います。

株式会社セガトイズ
国内事業部 ガールズ部 **堀辺 宏美**（写真左）／**宮崎 奈緒子**（写真中央）／**伊藤 さやか**（写真右）

品質試験を徹底しています

開発・設計段階の取り組み（試験の一例）

開発・設計段階では、設計審査や妥当性検証のゲートを設け、安全性の確保と市場不具合の未然防止に努めています。毎月開催される品質会議では、問題点や課題、改善状況の共有を経営層を含めて行っています。また、玩具は幅広い層のお客さまが使用することから、製品に含まれる物質について食品衛生法等に基づいた品質基準を定め、ポリ塩化ビニル（PVC）の使用を一切禁止する等、厳しい自主基準を設けています。なお、生産前には、製品の品質と安全を確認するために、自社で定めた品質基準のもと、試作品を用いた品質試験を徹底しています。



耐久試験、耐荷重試験、落下試験

スイッチやボタン、耐荷重、落下時等の耐久性を確認します。

高温高湿槽試験

温度、湿度を可変できる装置で、様々な環境条件での保存性、動作等を確認します。

静電気試験

人体モデルと等価の静電気を製品に印加し、安全性、故障等が発生しないかを確認します。

蛍光X線分析装置

製品にカドミウムや鉛、水銀等の有害物質が含まれていないかをすべての製品で確認します。

振動試験

輸送時の振動を想定し、お客さまにお届けした際に故障しないかを確認します。

試験規格

日本、アメリカ、EUの安全基準を分かりやすく壁に掲示し、注意喚起を促しています。

工場と連携して
工程品質管理を
徹底しています

生産段階の取り組み

自社に生産工場を持たないセガトイズでは、生産委託先との連携を強化し、製品の安全や品質向上、生産効率向上に向けた取り組みを行っています。工場の監査については、監査チェックリストを定め、定量的な評価を行っています。さらに製造工程設計まで踏み込み、改善指導、管理を徹底することで、工程品質を安定させ、出荷品質の確保に努めています。

三重チェックを
実施しています

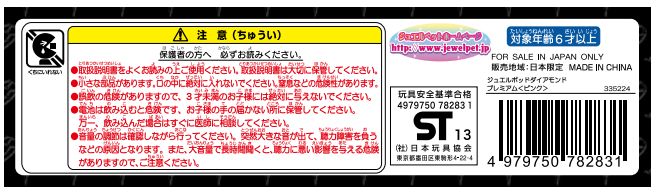
出荷段階の取り組み

生産委託先から製品を出荷する際に「出荷検査」を実施し、当社側では「受入検査」を国内外で二度実施します。こうした三重の検査で品質の確認を徹底しています。また長期滞留品の品質確認も定期的に行っています。

分かりやすい
表記の工夫を
しています

製品表示に関する取り組み

製品を安全にご使用いただくために、取扱説明書や製品本体等に誤使用や不注意による事故の回避に役立つ注意喚起や表示を行っています。説明書等の書面は、各事業部で定められた確認項目をチェックするとともに、一般社団法人日本玩具協会の玩具安全基準（ST基準）に準拠した、注意表記の内容を品質保証部が確認し、表示しています。また、製品のカテゴリーごとに必要な注意表記が漏れなく表記されるようデータベース化しています。



お客さまの声に
学んでいます

販売後（アフターフォロー）の取り組み

顧客サービス室にて、お客さまのご意見・ご指摘・不良品情報をタイムリーに関係者へ配信し、情報共有を図っています。なお、不具合品は回収、解析・検証を行い、不良の傾向と対策、工場へのフィードバック、ナレッジ蓄積として類似製品の開発に活かしています。

製品安全への
取り組み

品質は計画で創る

製品安全を確保するためには、完成品の評価・検証を徹底することはもちろん、開発・設計から製造にいたる各プロセスの品質レベルを向上させることが基本であり、一番重要だと考えています。現在、当部署では「品質は計画で創る」という方針を掲げ、品質の作り込みに関係者一丸となって取り組んでいます。玩具は小さいお子さまが手にするものだからこそ、安全・安心は何よりも重要です。今後もあらゆるケースを想定し、かつ使いやすさにもこだわりながら、いかにしてプロセス品質をあげることができるかを追求し、製品の安全確保に努めていきます。

株式会社セガトイズ
生産統括部 品質保証部 **大辻 健司**

小児向け
歯科診療支援
ツール

特集4 ～アニメを活用し、小児歯科診療の充実と発展に貢献する～

スマイルタッチ デンタル

トムス・エンタテインメントでは、歯科診療における治療や検査を受ける子どもの診療意欲を高め、効果的かつ効率的な歯科診療環境の実現に貢献することを目的としたアニメ視聴端末『スマイルタッチ デンタル』を開発し、提供しています。

トムス・エンタテインメントは、2010年にアニメ映像を活用した小児医療向けプレパレーション※支援ツール『スマイルタッチ』を発売し、病児のケアを通じて小児医療現場の負担軽減に貢献してきました。
今回の『スマイルタッチ デンタル』は、「歯科診療でも活用したい」という多くの歯医者さんの要望に応え、誕生しました。
本製品は、綿密な市場調査と小児歯科専門医との協業によって開発されており、歯科診療のあらゆる場面で安心・安全に利用できます。また、患児に楽しみを提供し、治療中もリラックスできるように、当社が手がける「それいけ!アンパンマン」「名探偵コナン」等の子どもに人気のアニメも収録しています。

© 2013 Gullane (Thomas) Limited. © SANRIO CO.,LTD. © 藤子プロ・小学館・テレビ朝日・シンエイ・ADK © ABC・東映アニメーション © baby toi
© やなせたかし／フレーベル館・TMS・NTV © 青山剛昌／小学館・読売テレビ・TMS

診察の事前説明

待合室やキッズコーナー等で、診療・治療への理解を促す

小児歯科専門医との協業で制作した歯科診療を楽しく分かりやすく説明するアニメ「はいしゃさんってなにするの？」を収録しています。診療・治療への誘導がスムーズになり、保護者からも高い評判を得ています。

診療・治療中

治療中でも視聴可能なため、リラックスして治療を受けられます

治療中は人気アニメを観ることで患児の不安や恐怖心を緩和し、スムーズな診療ができます。また、親や兄弟の付き添いで来た子どもへ、チェア横のアメニティとしても活用できます。

ステークホルダーの声

“子どもが見て理解する”を実現した画期的な診療支援ツール

普段私たち歯科診療従事者は、幼児や低学年児童に治療内容等を説明する際、「歯に魔法をかけて眠らせるよ」などと、子どもに分かりやすく、そして恐怖を与えないように配慮しています。しかし、それが子どもたちに十分に理解されているかどうかは検証されていません。今回開発された『スマイルタッチ デンタル』は、アニメ動画を活用して子どもの不安や恐怖を緩和しようとする、これまでになかった画期的なツールです。また、子どもたちへの説明を「親の了解を得れば良い」とする考えから「子どもたちに直接語りかける方法」へと進め、子どもたちの心を第一に考えようとする発想から生まれたプレパレーション※支援ツールでもあります。歯科治療は他の治療分野より恐怖感が強いといわれていますが、このツールを活用することで、子どもたちの不安や恐怖が和らぐ様子には、実際に驚くほどです。また、アニメ動画による説明は、発達障害等、軽度の精神障害を持った患者さまにも有効で、私たちと子どもたちの心を結ぶ懸け橋としての新たな役目、可能性も含んでいます。

子どもたちの笑顔や安心して治療を受けている様子は、私たちにとっても喜ばしいことです。今後さらなる機能やコンテンツの充実により、小児歯科治療に必要不可欠なツールに発展されることを期待します。

明海大学歯学部教授
渡部 茂 様

※プレパレーション：病気・検査・治療等について子どもの年齢や理解度に応じた説明を行い、理解を促すことで、子どもだけでなく家族がともに前向きに治療に取り組む意欲を引き出す医療概念であり、実践手法です。また、治療中に“大声で泣く”“治療を拒否する”等のストレス反応を示す子どもに対し、そういった不安や恐れを軽減する手法（ディストラクション）も「プレパレーション」の一種と捉えられ、近年では病児ケアを行う際の重要な要素として急速に小児医療の現場に広がりつつあります。

被災地支援活動について

セガサミーグループでは、2011年3月の東日本大震災発生直後から、義援金や物品の寄贈に加え、社員ボランティアの被災地への派遣、被災地応援イベントの開催等、様々な支援活動を継続的に行っています。

2013年5月、里見会長のCSRレポートインタビューに社員ボランティアや被災地応援イベントに参加した社員の代表者6名が同席し、被災地支援活動の現状や今後の予定・展望について意見交換しました。

●参加者

［前列左から］

株式会社セガ　エンタテインメントパーク事業部 運営部（東京ジョイポリス）　**橋本 哲郎**

セガサミーホールディングス株式会社　代表取締役会長兼社長　**里見 治**

株式会社セガ・ロジスティクスサービス　管理部　**藤本 めぐみ**

［後列左から］

サミー株式会社　コーポレート本部 総務部　**小林 秀一**

株式会社トムス・エンタテインメント　経営企画室 法務・ライツ部　**光川 弘治**

株式会社サミーネットワークス　マーケティング本部 ライツ推進部　**桑田 衛**

株式会社セガトイズ　国内事業部　ボーイズ部　**伊藤 洋**

光川　阪神淡路大震災の時に親戚が被災したこともあり、何か力になりたいと考えていました。しかし、個人の想いだけでは積極的に動くことが難しく、半ばあきらめていた時に、会社が社員のボランティアをサポートする制度や機会があるということを知り、参加しました。このように会社がバックアップしてくれることをとても心強く思います。今後も是非継続していければと思います。

藤本　社員のボランティアへの参加を、グループとしてサポートしてくれることに感謝しています。また、こうした取り組みに積極的なグループの一員であることに誇りを感じています。震災関連の報道やボランティア参加者の数が減少傾向にありますが、被災地にはまだまだ困っている方々がいます。これからも継続的な支援を続けていくことが大切だと思っています。

桑田　実際に現地に行くことで、報道だけでは知り得ない状況を肌で感じることができました。震災から2年以上経過しましたが、まだまだ困っている人がいるのではと心配になります。ボランティアに参加し、得た学びや経験を普段の生活や仕事でも活かしていきたいと思いますし、こうした経験を一人でも多くの社員ができれば、もっといい会社、グループになると感じました。

小林　私は東松島市と七ヶ浜町の被災地応援イベントに参加しました。イベント後に自治体の方から、「仮設住宅では、引きこもりや孤立する方がいる中で、このように住人同士が触れ合う機会が本当に大切なんです、とても感謝しています」という言葉をいただき、エンタテインメントの可能性や必要性を実感しました。これからも是非続けていきたいと思います。

伊藤　私は被災地応援イベントで爆丸のイベントを担当しました。汚れた爆丸のおもちゃを大事に握りしめている男の子との出会いが印象的でした。「家が浸水し、この爆丸だけが家に残っていた。これは僕の大事なお守りなんだ」という話を聞き、涙をこらえられませんでした。私たちがつくる商品が、子どもたちの力になっていることを感じ、これからも爆丸を通じて、もっとたくさんの子どもたちの笑顔を見ていきたいと思いました。

橋本　東京ジョイポリスでは、2011年の年末から2013年3月までに、関東圏で避難生活をされている方々を無料でご招待してきました。来館時には硬い表情の方が、帰る時には明るく元気になっている様子を見るにつけ、エンタテインメントを通じて笑顔を届けられて良かったと、私自身も元気がわいてきます。

里見　私も被災地を訪問し、様々な支援イベント等に参加させていただきましたが、やはり実際に現地に行って、自分で見て感じて体を使うこと。そして何より現地の方々と対話しながら自分たちに何ができるかを考え行動することがとても大事だと思います。復興支援も3年目に入り、住宅や雇用など様々な課題に取り組んでいかなければいけない中、避難生活を強いられている方々のストレスは大きく、また一方で引きこもりや孤立化等も問題視されています。こうした課題に対し、ストレス軽減やコミュニケーションの活性化などにつながるような貢献をさらに加えていくこともエンタテインメント企業グループである私たちの役割です。

社員の発案でスタートした社員ボランティア、被災地の皆さんの何かの手助けになりたいという思いから手探りで始めた被災地応援イベント等、様々な取り組みにグループ各社が協力し合いながら進めていることを誇りに思います。必要とされる支援は時間とともに変わってくるでしょう。今後も復興につながるタイムリーな活動を、皆で力を合わせて継続的に行っていきたいと思います。